

## #12 手順を経た三一の神、彼の働き、彼の働きの結果

(レビ記結晶の学び二) 2018/11/5-11/11

**I. レビ記第26章1節と2節は、偶像を造らないこと、エホバの安息日を守ること、彼の聖なる所を畏れ敬うことについて語っています。私たちはこれら三つの点の内在的意義、すなわち手順を経た三一の神、彼の働き、彼の働きの結果を理解する必要があります。**

**レビ26:1** あなたがたは、自分のために偶像を造ってはならない。また自分のために刻んだ像や柱を立ててはならない。またあなたがたの地に石像を置いて、それにひれ伏してはならない。私はエホバ・あなたがたの神だからである。**2** あなたがたは私の安息日を守り、私の聖なる所を畏れ敬わなければならない。私はエホバである。

**II. 私たちは偶像を持つべきではありません。これが表徴するのは、神以外に私たちが追い求める他の目標を持つべきではないということです。それは、私たちが神聖な嗣業を享受する地位を失わないためです:**

**A.** 神ご自身が私たちの唯一の目標でなければなりません。神の子供たちとして、私たちは彼以外のいかなるものも求めるべきではありません。

**B.** 「偶像」は、真の神に代わる異端的代替品を指します:

**①** 偶像は、真の神に取って代わるあらゆるものです。真の神とは、私たちが命として経験する三一の神です。

**②** 私たちは真の神の子供たちとして、油断なく警戒し、自分自身を守り、異端的代替品から、また真実で実際の神に取って代わるすべてのむなしなものから、遠ざかるべきです。この方と私たちは有機的に一であり、彼は私たちにとって永遠の命です。

**C.** 新約が啓示しているのは、私たちの神が、手順を経て究極的に完成された三一の神、すなわち肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の手順を経過した方であるということです:

**①** 「手順を経た」は、神聖なエコノミーの中で三一の神が経過した段階を指しています。「究極的に完成された」は、手順が完成したことを示します。**【月】**

**②** 神は、彼の性質と実質において永遠であり不変ですが、彼のエコノミーにおいて手順を経過しました。

**ヨハネ1:14** そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

**③** 肉体と成る前、神は手順を経ておらず、神聖な性質を持っているだけでした。しかし、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活を通して、三一の神は手順を経て究極的に完成されて、その霊と成りました。

**ヨハネ7:39** イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったため、その霊はまだなかったからである。

**D.** その霊は手順を経た三一の神の究極的完成です:

**①** 手順を経て究極的に完成された三一の神は「その霊」です:

**a.** 私たちはみな、その霊(三一の神、人なるイエス、彼の人の生活、彼の死、彼の復活の複合)のビジョンを受ける必要があります。

**b.** その霊は、手順を経た三一の神の究極的完成としての、手順を経た、複合の、すべてを含む、命を与える、

内住する、七倍に強化され、究極的に完成された霊であり、彼の選ばれ、贖われ、再生され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化された三部分から成る人の命、命の供給、すべてとして、彼らの永遠の分となります。

**②** 主イエスが十字架につけられて復活させられる前、究極的に完成された霊は「まだなかった」:

**a.** 神の霊は初めからありましたが、「キリストの霊」、「イエス・キリストの霊」としてのその霊は、ヨハネ第7章39節の時には「まだなかった」のです。なぜなら、まだ彼の栄光が現されていなかったからです。

**b.** 主イエスが復活させられた時に、彼の栄光が現されました。そして、この栄光を現すことを通して、神の霊は、肉体と成り、十字架につけられ、復活したイエス・キリストの霊と成りました。**【火】**

**c.** 最後のアダム、肉体におけるキリストは、復活において命を与える霊と成りました。それ以来、イエス・キリストの霊は、神聖な要素と人に属する要素の両方を持っており、キリストの肉体と成ること、十字架、復活の実際を含んでいます。

**③** 「究極的に完成された霊」という用語は、その霊が手順を経て、その結果、究極的に完成された霊と成ったことを示します:**ガラテヤ3:14** それは、アブラハムの祝福が、キリスト・イエスの中で異邦人に及ぶためであり、私たちが信仰を通して、約束されたその霊を受け取るためなのです。

**a.** その霊は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の手順を経過した後の三一の神です。

**b.** 三一の神は、手順のすべての段階を経過して、今や神の新約エコノミーの祝福としての究極的に完成された霊です。

**c.** 究極的に完成された霊、複合の霊は、神聖で奥義的な領域です。今日、キリストの中にある信者たちは、その中へと入ることができます。

**III. 私たちは神の安息日を守るべきです。これが表徴するのは、神の働きが完全にご自身によってなされ、私たちがそれを享受することができ、何の働きもする必要がないことを、私たちが知るべきであるということです:**

**A.** 私たちは、神が行なったことを受け入れ、評価し、尊重し、享受し、自分自身のために何かを行なおうとしないことを学ぶ必要があります:

**①** 私たちは自分の働きを否むべきですが、神の働きを尊び、彼の中で安息すべきです。**マタイ11:29** 私は心の柔和なへりくだった者であるから、私のくびきを負い、私から学びなさい。そうすれば、あなたがたは魂に安息を見いだす。

**②** 神は、私たちが自分の行ないを停止し、キリストによって置き換えられ、キリスト以外の味わいから離れることを欲しています。**【水】**

**③** 計り知れないほど豊富なキリストを享受する道は、彼を私たちの真の安息日の安息とし、自分自身をその生活、行ない、活動と共に停止し、彼を私たちの命、パースン、置き換えとして受け入れることです。その時、私たちはキリストを復活の力として経験し、造り変えられ、あらゆる地的な妨げを超越して天に舞い上がるでしょう。

**B.** 私たちは、三一の神が私たちのために何を行なったかを知り、父、子、霊の働きを高く評価する必要があります:

**Ⅱコリント13:14** 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

①御父の働きは以下の点を含みます:

- a. 世の基が置かれる前から信者たちを選ぶ。
- b. 信者たちを子たる身分へとあらかじめ定める。
- c. ご自身の御子を罪の肉の様で遣わす。
- d. 御子の中で来て、御子の内側で働く。
- e. 御子の中で死を経過する。
- f. キリストを死から復活させる。
- g. キリストを天上で座らせ、万物を彼の足の下に服従させ、彼を万物の上にかしらとして召会に与える。
- h. 信者たちを召し、赦し、義とし、和解させ、受け入れ、再生し、洗い、聖別し、栄光化する。
- i. 信者たちの心の中へ御子の霊を遣わす。
- j. 神を愛する者、彼の目的にしたがって召されている者たちに、すべてを共に働かせて益とならせる。
- k. サタンを信者たちの足の下に踏み砕く。
- l. 多くの信者たちを栄光へ導き入れる。

②キリストの働きは以下の点を含みます:

- a. 神を人の中へともたらし、神を人と一にする。
  - b. 人に仕える。
  - c. 王国の種をまく。
  - d. 悪魔のわざを無効にする。
  - e. 神の小羊として、世の人の罪を取り除く。
  - f. 死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼす。
- ヘブル2:14 こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっているの、同様に彼ご自身も同じものにあずかれたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり。

- g. 神の宮を再建し、団体の宮とする。
- h. 命を与える霊と成る。
- i. 主として、すべての上に彼の主権を行使し、神聖なエコノミーを完成する。
- j. 召会を建造する。
- k. メルキゼデクの位による私たちの大祭司として、私たちのためにとりなす。
- l. 地の諸王の支配者として、全世界を支配し、福音が拡大し、召会が生み出されるようにする。【木】

③その霊の働きは以下の点を含みます:

- a. 世の人に自らを責めさせる。
  - b. 信者たちを再生する。
  - c. 彼の満ちあふれる供給をもって信者たちに供給する。
  - d. 信者たちを聖別する。
  - e. 信者たちを造り変える。
- Ⅱコリント3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。
- f. 信者たちをすべての実際へと導く。
  - g. 神の愛を信者たちの心の中に注ぐ。
  - h. 信者たちを油塗る。
  - i. キリストのからだの一である。
  - j. 諸召会に語る。

Ⅳ. 私たちは神の聖なる所を畏れ敬う必要があります。これが表徴するのは、神の住まい、具体化、表現としてのキリストの中で、また神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会の中で、神であるすべてと神が完成したすべてを、私たちが畏れ敬い、評価すべきであるということです:

A. 私たちはまず、手順を経た三一の神と、私たちに安息を得させる彼の働きを持ちます。その後、彼の働きの結果として、キリストの表現と拡大としての召会を持ちます。

B. 「彼らに私のために聖なる所を造らせなさい。それは、私が彼らの中に住むためである」(出25:8):

①出エジプト記は、神の救いの目標が、地上での神の住まいの建造であることを啓示しています。

②レビ記第26章2節の聖なる所は、キリストの中の神の住まい、具体化、表現、また召会の中の神の住まい、永遠の現れを暗示しています。

C. 召会は神の家、神の住まいです:

Ⅰテモテ3:15 それは、もし私が遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

①神の家として、召会は神の住まい、すなわち神が安息し、信頼することのできる場所です。【金】

②神の召会は、生ける神の家です:

a. 神の家は神の家族です:エペソ2:19 そこであなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者、神の家族の者であり。

(1)住まい(家)と家庭(家族)は一つの実体、すなわち一群れの召され、再生された、神ご自身が内住する者たちです。

(2)キリストが彼のからだの肢体と分離されておらず、彼らの中に住んでいるように、御父は彼の家族の者たちと分離されておらず、すべての子供たちの中にいます。

b. 神の家は神聖な命の中で有機的であり、神聖な性質の中で有機的であり、三一の神の中で有機的です。召会は有機的であるので、召会は成長します。

c. 神の家としての召会について語る時、パウロは神を生ける神と呼んでいます:

(1)召会の中で生きている生ける神は、召会にとって主観的にならなければならず、客観的であるだけであってはなりません。

(2)神は生きているので、神の家としての召会もまた彼の中で、彼によって、彼と共に生きています。生ける神と生ける召会は共に生き、行動し、働きます。

③神の家、すなわち御父の家としての召会は、拡大された宇宙的な神性と人性の合併であり、それは御父により、神聖な栄光をもってキリストの栄光が現されたことの結果です。

④Ⅰテモテ第3章15節から16節は、神の家としての召会が、肉体における神の現れであることを示しています:

Ⅰテモテ3:16 そして確かに、偉大なのは敬虔の奥義です。この方は肉体において現され、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世の人の中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

a. これらの節が暗示するのは、かしらとしてのキリストだけが肉体における神の現れであるのではなく、からだとしての召会も肉体における神の現れであるということです。

b. 神が現されるのは、肉体における彼の拡大された団体的な表現としての召会、キリストのからだ、生ける神の家の中です。

Ⅴ. 手順を経た三一の神、彼の働き、彼の働きの結果のビジョンを見ることは、私たちが従順な者へと構成して、神の祝福を受けさせます。【土】

## 経験①: その霊は三一の神の究極的完成であり、 人の内側に入り、渴きをいやす

その霊は三一の神の究極的完成です。最終的に、神は「その」霊と呼ばれており、造り変えられた三部分から成る人は花嫁です。…私たちの神はすでに完成されました。なぜなら彼は手順を経て複合されたからです。

私は、私たちがみな、「その」霊のビジョンを受けるように望みます。その霊は三一の神、人なるイエス、彼の人の生活、彼の死、彼の復活の複合です。宇宙におけるすべての積極的なものがこの一つ霊、すなわち「その」霊の中に複合されています。

私たちはその霊の完全な定義を与えることができます。その霊は、手順を経た三一の神の究極的な完成としての、手順を経た、複合の、すべてを含む、命を与える、内住する、七倍に強化され、究極的に完成された霊であり、彼の選ばれ、贖われ、再生され、聖別され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人の命、命の供給、すべてとして、彼らの永遠の分となります。

ヨハネによる福音書第7章39節は、その霊について語り、主イエスが十字架につけられ、復活させられる前、その霊はまだなかったと言っています。…彼の復活の後、すなわち、彼の栄光が現された後、神の霊は、肉体と成り、十字架につけられ、復活したイエス・キリストの霊となりました。キリストの死と復活の前でさえ、神の霊はエホバの霊、聖霊であったのですが、その霊はまだありませんでした。その霊というこの用語は、パウロによって彼の書簡の中で、またヨハネによって啓示録の中でしばしば用いられています。その霊について語る時、ヨハネとパウロは三一の神のすべてを含む、命を与える霊に言及しています。ですから、最終的に究極的に、神の霊はその霊です。

### 新人編

父、子、霊である三一の神は受肉、人間生活、十字架、復活の手順を経て究極的に完成され、命を与える霊、その霊となりました。その霊は主イエスが地上で務めを行なっておられた時には、まだありませんでした。それはまだ「その霊」が完成されていなかったということです。ヨハネ 7:37 祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って叫んで言われた、「だれでも渴く者は、私に来て飲むがよい。38 私の心へと信じる者は、聖書が言うように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。39 イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったため、その霊はまだなかったからである。

ハレルヤ！ 主を賛美します。キリストの復活の後、その霊は三一の神の究極的完成として、今、空気のようにここにおられます。あなたが心を開き、霊を活用して主の御名を呼び求めるなら、その霊はあなたの中に入り、あなたの内側の渴きをいやすことができます。その霊はすべての成分を含む命を与える霊であり、あなたの霊の中に入り、あなたに豊かな供給を与えることができます。その霊が完成するまで、神の霊が人の上に臨むことはあっても、決して人の中に入ることはできませんでした。新約の教会時代におけるあなたに対する最大の祝福は、あなたの中にその霊が入り、あなたのあらゆる必要を内側から供給することです。

新しく救われた新人の皆さんは、このすばらしいその霊の祝福を理解し、経験してください。あなたが大学院生であれば、勉強や研究の中でその霊はあなたに必要な知恵、理解力、執行力、複雑な物事を簡潔にまとめる力、忍耐力などを供給することができます。それによってあなたは優れた大学院生となり、主の証し人となることができます。

祈り: 「おお主イエスよ、あなたの御名を呼び、あなたの御言葉を祈り読みします。主が地上で務めをしていた時、その霊はまだありませんでした。しかし、今日神の霊は究極的に完成され、すべてを含む命を与える霊として、私の中に入り、私の命、命の供給、すべてとなることができます。どんな困難な時でも、その霊に触れ、享受し、乗り越えることができますように！さらに、私が享受したその霊が私の内側から周りの人に流れ出すことができますように！アーメン！」

## 経験②: 信仰によって神の働きを受け入れ、 安息の中で享受する

私たちは神の働きを受け入れ、そのゆえに安息すべきです。しかしながら、大部分の人は神の働きを無視し、かえって自分自身のために、また自分自身によって何かを行なおうとします。…多くの信者は、神の働きが彼らのために完成したことを無視し、自分自身で働いて自分自身のために何かを完成します。しかし、私たちが神と神の働きの中に安息するように、神が私たちのために行なわれたことを無視するのは、神に対する冒とくです。神と神の働きの中に安息することが、彼の安息日を守ることです。

私たちは神の働きを無視して、神のために何かを行なうという口実の下に、自分自身のために自分自身によって何かを行なうことを追い求めるかもしれません。そのような事には良い外観があるかもしれませんが、それは実は神に対する冒とくです。なぜならそれは、私たちが彼の中に安息し、彼が私たちのために行なわれたことを享受する…ことを無視するからです。神が行なわれたことを無視するのではなく、私たちは行なうことができること、あるいは行ないたいことを否むべきです。私たちは自分の働きを否む必要がありますが、神の働きを尊び、彼の中に安息する必要があります。

### 中高生/大学生編

エペソ 1:19 また神の力強い大能の活動にしたがって、信じるわたしたちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。20 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、21 すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました。22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。

あなたは信仰によって神の働きを受け入れ、安息の中で享受してください。あなたは不信仰になって、自分の力で神の働きを助けようとははいけません。神はすでに手順を経られ、復活の中で命を与える霊、その霊となられ、その霊は天的発電所からすでにあなたの中に流れ込んでいます。あなたは発電所に電話して、電気を送ってくれるように求める必要はあり

ません。そうすることは不信仰であり、神の働きを無視することです。あなたはただ信仰によって自分の霊に既に設置された電気のスイッチをオンするだけでいいのです。霊のスイッチをオンにして、主に感謝賛美し、安息の中で主があなたのためになし遂げた事実を単純に享受してください。

例えば、あなたは学校での人間関係がうまくいかず、自分が孤立していると感じたり、勉強についていけず、不安になったりします。このような時、主はあなたの内側であなたを元気付け、前向きに前進させる力を供給することができます。あなたは次のように祈ることができます、

「おお主イエスよ、私は弱くなっており、傷ついています。しかし、今私は霊を活用し、あなたに來ます。あなたは私の傷をいやし、元気付けることができると信じます。私に必要なのは、弱気になることなく、また慌てふためくことでもなく、あなたに來て安息の中であなたのみわざにあずかることです。主よ、私を不信仰から救ってください。また、私が自分のためにあなたを利用することからも救ってください。純粹になって、あなたの御心を受け入れ、あなたご自身とあなたのみわざを経験し、あなたを表現する学生にならせてください。アーメン！」

### 経験③: 献身を更新し、神の働きにあずかり、神の働きの目標である教会を建造する

三つの事柄(神、神の働き、神の働きの結果)は、聖書の六十六巻の中で完全に取り扱われています。私たちは旧約で予表を見て、新約で成就を見ます。こうして、全聖書はこれら三つの事柄を明らかにしています。私たちはまず、手順を経た三一の神と、私たちに安息を得させる彼の働きを持ちます。その後、彼の働きの結果として、究極的に完成されたキリストの表現と拡大としての召会を持ちます。私たちはこれを見る必要があります。これら三つの事柄を見ることは、神に従い、神と共に行く強力な根拠を私たちに与えます。

多くのクリスチャンは出エジプト記を読み通してきましたが、神の救いの目標が、彼の贖われた民を地上での彼の住まいの中へともたらすことであるという事実に深く印象づけられることがありませんでした。神の救いにおける目的は、私たちが彼の住まいとすることです。

召会、地上での神の住まいは、神が安息し、信賴することのできる場所です。神はこの住まいの中で生活し行動して、彼の御心を完成し、彼の心の願いを満たします。

### 在職青年/大学院生編

OL: 手順を経た三一の神、彼の働き、彼の働きの結果のビジョンを見ることは、私たちを従順な者へと構成して、神の祝福を受けさせます。

在職青年或いは大学院生であるあなたには、成し遂げなければならない大きな要求があります。しかし、主を賛美します。主には要求を超えた供給があります。手順を経て究極的に完成された三一の神はその霊、イエス・キリストの霊の満ち溢れる供給です。

ピリピ 1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。

FN「満ちあふれる供給」: ギリシャ語の言葉は、合唱隊の編成者、指揮者が、団員のあらゆる必要を供給する

ことを意味します。すべてを含む霊の満ちあふれる供給は、キリストのために苦難を受ける中で、パウロがキリストを生き、大きく表現することを可能にしました。

あなたは自分で頑張つて、ビジネス・ライフを成功させようと奮闘するものではありません。しかしビジネス・ライフが、実際的にイエス・キリストの霊の満ち溢れる供給にあずかることができるようにする良い環境であると理解してください。もし、ビジネス・ライフのような実際的な環境がなければ、あなたが主の満ち溢れる供給を実際化することは難しいでしょう。詩歌 381 番の 4、5、6 節を賛美してください。

4. いのちの成分、ゆたか、新鮮、われ、うるおし、呼び覚ます。いのちは死を 飲み尽くす、なげき変わり、うたとなる。
5. われをまったく 主にささぐ、みこころにて まじわりす; もはや自分で あらためず、もがかず、主を さまたげず。
6. おのが努りよく、まったくやめ、主、はたらかせ、自己を脱ぐ; 聖徒取り組む みからだは、主を住ませ、主を表現す。

またあなたはキリストをビジネス・ライフや研究生活の繁栄のために利用してはいけません。神のエコノミーである教会建造はこれらのものよりはるかに高く、永遠の価値があります。もしあなたが神のエコノミーをこのように高く評価するなら、当然キリストと教会をあなたの本業とし、決してビジネス・ライフや研究生活をあなたの本業としないでしょう。あなたが神のためであるなら、あなたの生活も神のエコノミーのゆえに祝福されるでしょう。

祈り: 「おお主イエスよ、あなたを愛します。あなたの家である教会を建造します。私は自分自身と私のビジネス・ライフをあなたにささげます。ビジネス・ライフという実際的な環境の中で、あなたを豊かに経験できますように。この経験したキリストは第一義的に教会建造のためであり、付属的にビジネスのためにも役立ちます。私が神の働きにあずかり、教会を建造することができることを感謝します。」

### 詩歌 25 父を礼拝する — 彼の愛(英 30)

1. ちちよ、なんという あいあとうや; かん謝し、さん美す、なれのすべて。
2. みこころ、けい示し、御むね知らず; 子にあり来たりて、けいかく成す。
3. ながあいゆえ、御子 来たり、死にて、おおくの子たちを 世継ぎとする。
4. 御子を通し、ちちの いのちを持つ; 神せいなせいしつ、われあずかる。
5. ながれいはいりて、アバ、と呼ばせ、再せいし、証いんし、つくり変える。
6. 御子のかたちへと どうけい化し、多くの子、栄こうへ みちびき入る。
7. つくり変えのため、ばん事そなえ、栄光から栄光へと かんせいする。
8. ちちよ、なんという あいあとうや; 感謝し、れいはいす、賛美はやまじ!